

学校だより

British Hills 英語研修

3年電気科 菅野 愁斗
私達3年生は、7月24日から3日間英語研修として、福島県にあるBritish Hillsへ行ってきました。この施設は、イギリスをモチーフにしており、日本語でな



左：檜山さん 右：菅野さん

く英語で話す施設となつています。英語は元々苦手だったため、研修先が決まったときは英語が伝わるか不安でした。しかし、不安な気持ちで参加しても楽しめないと思つたので、絶対使うであろう英語を事前に調べていきました。その結果、しっかりと会話が出来たので安心したと同時に、海外の方と話す楽しさを知りました。もっと、海外の言語を勉強して様々な国の人と話せるようにしたいと思います。



第59回技能五輪全国大会 2次予選会出場

2021年7月31日～8月1日に、第59回技能五輪全国大会「旋盤」職種2次予選会が3会場（日立工業専修学校・ポリテクセンター中部・ポリテクセンター関西）にて開催された。本校からは、技能五輪部所属3年機械科谷 鳳人さんが出場した。課題は部品数が3個で加工時間が2時間55分、2パターンの指定された組立機能に加え、単品寸法、組立寸法を公差内に加工するという困難な内容で、高校生にとっては極めて難易度が高いものであったが、怯むことなく本番に挑み、出場者78名中29位という成績で見事に通過した。全国大会出場者は43名となる。全国各企業の強豪選手相手に、高校生らしく全力で頑張ってくれることを期待したい。

3年機械科 技能五輪部

旋盤職種 谷 鳳人

2次予選大会本番の始まる前は、適度な緊張と良い集中力で迎えることができました。

しかし、開始数分でいつもは失敗しない大きなミスをしてしまいました。なんとか組図A、Bの両方になり提出することはできましたが、自分の中ではミスしてしまったことの後悔や通過できるかどうかの不安で

いっぱいでした。通過者の発表の日、



旋盤職種 谷 鳳人さん

第16回若年者 ものづくり競技大会

8月4日から5日の両日、愛媛県松山市アイテムえひめで同大会が実施された。3年電気科 伊藤 卓真さん、三津山 勲さんが出場し26チーム中第3位と健闘し銀メダルを獲得



3年 電気科 技能五輪部
メカトロニクス職種

左：三津山さん 右：伊藤さん

最後まで諦めずにベストを尽くし頑張った。将来の技能五輪大会に向けて良い経験を積むことができた。来年こそ念願のメダルを獲得できるように培ったノウハウを活かし訓練を行っていく。

(7頁へ続く)

確認すると自分の名前が載っていて一気に緊張が解けました。まずは通過できて本当に嬉しかったです。今回の大会では納得のいく品物が作れなかったため、全国大会では自分の納得いく品物を作り、取組賞をめざして頑張りたいと思います。そして、今回の大会を通過することができたのは、指導してくださった先生方やたくさんサポートしてくれた先輩のおかげでもあるので、これからも感謝を忘れずに訓練に励んでいきたいと思えます。

することができた。

2種類の課題があり、第一課題「生産設備を仕様書により一部改造」は一位で通過したが、第二課題「第一課題完成装置の改造メンテナンス」は時間を要し4位となり念願のメダルには届かなかつた。兩名とも緊張からイメージミスは多少あったが、

(6頁の続き)

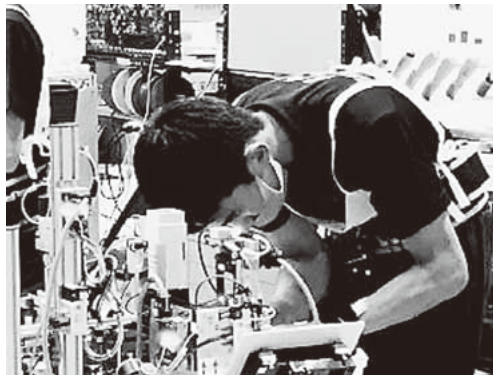
3年電気科 伊藤 卓真
私はソフト担当として愛媛で行われた若年者ものづくり大会に出場しました。出場した若年者ものづくり大会では、パートナーである三津山君とともに訓練で学んだ事を活かすことができ、銀賞に入賞することができました。本番での焦りや応用力の必要性など多くの経験ができました。



今回、大会に出場できたのは、学校の先生方など多くの人によって支えていただけたものだと思います。周りから支えていただけていることを忘れずに今後も訓練に励んでいきたいと思えます。

3年電気科 三津山 勲
今年の若年者ものづくり競技大会は愛媛で行われ、私が機械を組み立

てるハード面、相手の伊藤君がプログラムを打つソフト面を担当しました。大会本番では、最初は周囲の視線や焦りや緊張で手が震えてしまい、思ったように作業ができなかったのですが、次第に会場の雰囲気慣れ、最後まで全力で取り組み、結果的に練習以上の成果を出し、銀賞を獲得することができました。



今回の体験は様々な教訓や知識、技能を教えてくださいました指導員やパートナーなど多くの人達の支えがあつてこそその入賞だと思います。事業所でも、目標である技能五輪で上位入賞し、自分を支え、導いてくださった方々へ恩返しをしていきます。



第5回全国選抜 高校生溶接技術競技会 溶接甲子園

8月27日に開催された『溶接甲子園』に3年溶接科 大野 翔吾さんと竹田 昂さんが出場し、みごと最優秀賞(日本溶接協会会長賞)、優秀賞を受賞した。

大会は愛媛県新居浜市と四国地区溶接協会連絡会などにより主催され、2部門で全国から計53名が出場した。また、今回はコロナ禍のため新居浜市会場に集まることなく、事務局より送付された母材を溶接し、溶接後の作品を送り返す方法での開催となった。

最優秀賞を受賞した大野選手と優秀賞を受賞した竹田選手にコメントをいただいた。

3年溶接科 大野 翔吾



溶接甲子園の訓練が始まる前までは、「少しビードが曲がってしまったけど大丈夫だろう」と自分に甘い

考えをしていました。しかし訓練が始まると、たかが1つのビードだが運棒、棒角、適切な電流電圧、姿勢、これらの事が適切じゃなければ必ず欠陥が入り、外観も悪くなるかわかりました。1つのビードの難しさ、そして良いビードが引けたときの嬉しさは、これまで味わったことがないほどのものでした。大会を通じて溶接に対する考え方が変わり、これから始まる技能五輪に対する意欲も高まり、この大会は自分の事をとても成長させてくれた経験になりました。

また、最優秀賞をいただき、指導員をはじめ沢山の方々の支えがあつたことを感じています。次の目標である技能五輪でのメダル獲得をめざし、恩返ししていきたいと思えます。

3年溶接科 竹田 昂



私は部活との両立で、かなり限られた時間で練習しなければいけないなかでの挑戦でした。部活がある日は午後だけの練習時間で、時間が少ない中、短い時間で集中し上手くな

りました。伸び悩む時期もたくさんありましたが、最後の方では安定し、良い状態で本番を迎えました。しかし、迎えた本番では緊張もしていなかったのに焦ったり手が震えてしまい、個人的には全然満足したビードは引けず、優秀賞という結果で終わりました。

この結果を経て自分がいかに本番に弱いかを知り、今まで以上に本番を意識した練習をする必要があると学びました。次は技能五輪でメダルを取れるよう、学んだ経験を活かして努力していきたいと思えます。

11月10日(水) 高等課程入学願書受付開始!

◆学校見学は、お気軽に電話やメールでご相談ください。

TEL: 0294-28-5009

MAIL: boshu@hitachi-tech.ac.jp